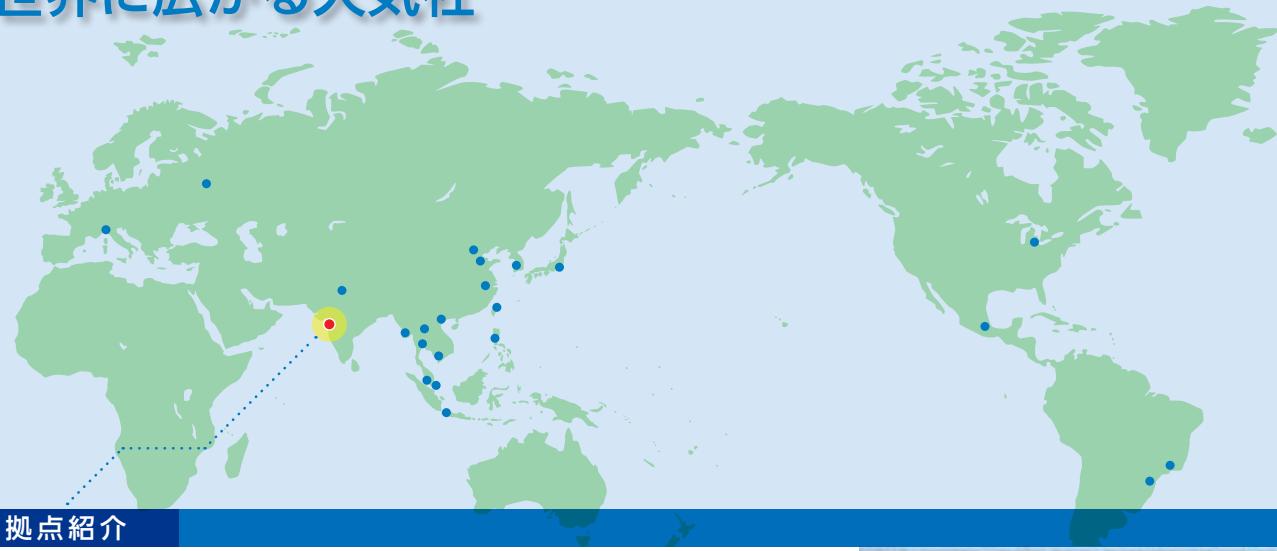


# 世界に広がる大気社

大気社は海外19か国に37社のグループ会社を展開しています。



## 拠点紹介



### Nicomac Clean Rooms Far East LLP (Nicomac社)

2020年7月、当社はインドのクリーンルーム向けパネル製造・販売会社である Nicomac Clean Rooms Far East LLP (Nicomac社) を子会社化しました。

Nicomac社はインド製薬メーカーを主要な顧客として、クリーンルームの設計から、クリーンパネル等の製造、施工(据付)までを一貫して提供しています。近年はグローバル企業に対しても取引関係を構築しており、インド国内での納入にとどまらず、先進国への輸出実績もあります。特に米国・カナダ向けには、安全性や防火性能確認のためUL/FM規格の適合証明を求められるケースが多くありますが、Nicomac社ではこの両認証を取得済みであり、さらなる輸出拡大を目指しています。



## FOCUS

インド経済は人口増加、都市化の進展、経済改革などを背景に、今後も底堅い成長が続くと見込まれています。特に医薬品分野に関しては、国民所得の増大や中間層の拡大、医療制度の整備が進むことによって、市場規模の拡大が期待できます。

当社では中期経営計画の基本方針である「グローバル市場における確固たる地位の確立」とその方向性「事業領域の拡大」のもと、インド国内において、高機能の空調設備を必要とする医薬品製造環境を中心に、Nicomac社のパネル製造・据付技術と当社の空調設備技術の融合により、クリーンルーム建設市場への対応力強化を目指します。



〒160-6129 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー  
TEL:03-3365-5320(代) FAX:03-5338-5195  
<https://www.taikisha.co.jp>



証券コード:1979

環境をつくる技術は、未来をつくる技術。



この写真は大気社の海外拠点があるインドの世界遺産、ラジャスタンの丘陵城塞群のひとつクンバルガル城です。インドの拠点については、裏表紙をご覧ください。

第76期  
第2四半期

# 株主通信

2020.4.1 ▶ 2020.9.30



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび当社第76期第2四半期連結累計期間（2020年4月から2020年9月まで）を終了しましたので、概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

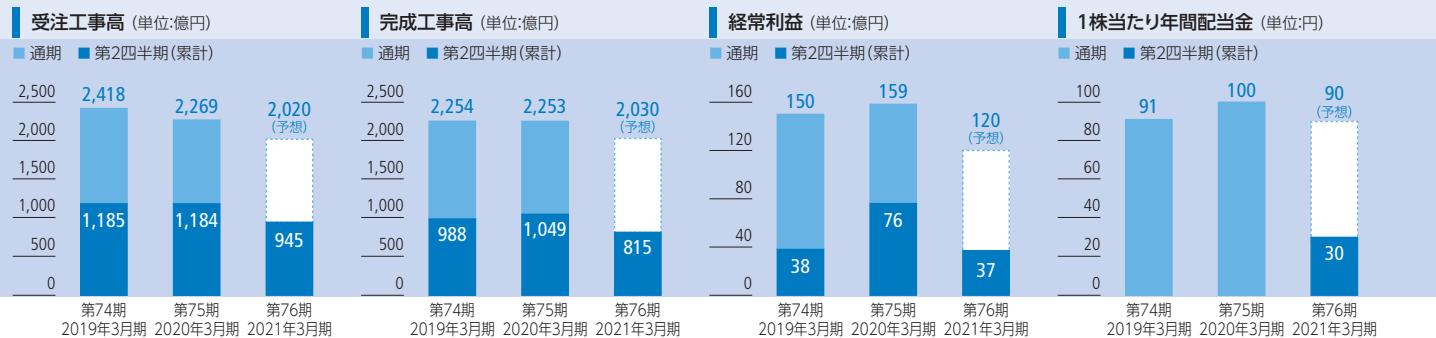
加藤 孝二

### ■ 当第2四半期連結累計期間の事業環境について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、第1四半期では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大きく悪化した後、第2四半期に入り経済活動の再開に伴い持ち直しの動きが見られたものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。米国と欧州では、行動制限の緩和後は個人消費の回復など持ち直しの動きが見られましたが、全体として景気は減速しました。また、足元では新型コロナウイルス感染再拡大により、再び行動制限が強まるリスクが高まっています。中国では、早期に経済活動を再開したことや、政府が投資促進策や消費刺激策を講じたことなどから、景気は持ち直しました。日本では、海外における経済活動の活発化に伴い輸出の回復など持ち直しの動きが見られたものの、全体として景気は悪化傾向となりました。

当社グループにおける市場環境のうち国内市場では、ビル空調分野においては、第1四半期連結累計期間における緊急事態宣言などによる影響が見られました。また、産業空調分野においても、景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりにより、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続きました。海外市場では、産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続きました。

### 業績ハイライト



### ■ 当第2四半期連結累計期間の業績について

大気社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績について、受注工事高は、国内、海外ともに減少し、945億14百万円（前年同期比20.2%減少）となり、うち海外の受注工事高は、495億73百万円（前年同期比4.3%減少）となりました。

完成工事高は、国内、海外ともに減少し、815億90百万円（前年同期比22.3%減少）となり、うち海外の完成工事高は、341億35百万円（前年同期比16.1%減少）となりました。

利益面につきましては、完成工事総利益は129億79百万円（前年同期比47億99百万円減少）、営業利益は31億91百万円（前年同期比43億69百万円減少）、経常利益は37億12百万円（前年同期比39億67百万円減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億70百万円（前年同期比23億1百万円減少）となりました。

### ■ 新中期経営計画の進捗について

2020年3月期から2022年3月期までの3か年における当社グループの中期経営計画の進捗について、ご報告申し上げます。当社は今後もすべてのステークホルダーから高い信頼と評価を得られるよう、経営目標達成のために全力を尽くしてまいります。引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

戦略	進行中の主な取り組み
付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・環境対応技術や自動化技術など	高塗着効率塗装システムの開発・商品化 CO <sub>2</sub> 削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を推進中。
研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見える化による提案力の強化	技術開発センター（愛川）の実証センター化 環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設として再構築を検討中。
IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進	予兆保全と品質解析システムの開発・事業化 IoT・AIを活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を行うシステム「i-Navistar」の導入拡大に向け営業活動推進中。
生産性向上	図面作画・積算業務の自動化システムの開発 図面の自動作画や自動積算のシステムを開発中。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など	植物工場自社工場建設 植物工場の量産・自動化技術の確立と実証、そして顧客への提案を行う施設の設定を検討中。 航空機・鉄道車両向け自動研磨装置の開発・事業化 初プロジェクトの受注に向けた営業・技術実証活動を推進中。
未進出国への事業エリア拡大	未進出国への拠点設立の検討 今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。
人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策	テレワーク制度拡充等ポストコロナ禍に向けた取り組み 当社に適するテレワーク制度の拡充など、ポストコロナ禍を見据えた社員の働き方の改善と業務の効率化に向けた対応を検討中。 同一労働同一賃金法改正への対応 改正法の本旨に基づき、非正規社員と正規社員間の処遇差異の見直しを実施。引き続き、処遇改善に向けた取り組みを継続中。
多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強	多様な人材の採用と活用 女性活躍を推進すべく、ライフイベントに応じた柔軟な休暇・休職の取得や復職後の職務訓練指導を実施。また、政府が推進する70歳雇用への対応について検討中。
コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など	資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化 企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。
国内外における内部統制体制の強化	ITに関わる内部統制体制の強化 グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。
グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど	グローバルな情報セキュリティ対策の強化 海外子会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。



## 環境システム事業部

経営資源の重点配分とお客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

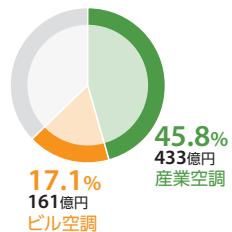
当事業部は、クリーンルームなど工場向けの空調設備を設計・施工する産業空調分野と、オフィスビルなどの空調設備を設計・施工するビル空調分野を国内外で展開しています。

ビル空調分野の建設需要は、リモートワークの普及によりオフィスビル需要の減退感が強まり、短期的には計画延期・縮小の動きがあるものの、大型再開発やリニューアル需要、データセンターなど、中長期的には底堅く推移する見通しです。

産業空調分野では、国内、海外ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、短期的に設備投資は調整局面が継続する見込みです。一方、スピード感に懸念はありますが、中長期的には5Gの普及やCASEの本格化により、国内、海外ともに、需要は回復に向かうと考えています。

今後の取り組みとしては、研究所の拡充・活用により技術開発力を強化し、技術を見える化することで、お客さまへの積極的な提案活動を推進します。また、植物工場事業をはじめとした新規事業や、海外市場で今後投資が期待できる未進出国への事業エリア拡大など、事業領域の拡大を目指していきます。

● 環境システム事業部受注高  
累計期間:2020.4.1~2020.9.30



## Green Technology System Division

公開空地のアトリウム化、新宿住友ビル三角広場が竣工

2020年6月、新宿住友ビルの大規模改修工事が完了しました。高さ25mのガラス屋根で新たに覆われた建物敷地内の公開空地では、さまざまなイベントを開催することができます。当社は、自然換気システムや床冷暖房システム、居住域空調システムを手掛け、他の省エネルギー対策とともに、環境負荷を40%低減するという目標に貢献しています。



## 塗装システム事業部

経営資源の重点配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

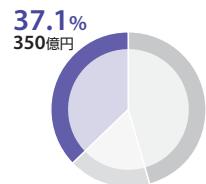
当事業部は、国内外の自動車メーカーを主要なお客さまとして、自動車塗装プラントの設計・施工を行い、この分野で世界トップクラスの売り上げを誇ります。

足元では新型コロナウイルスの感染再拡大により、依然として先行きは不透明な状況が続いており、設備投資は調整局面が継続する見込みです。一方、EV化・自動運転技術の進展・自動車のAI化により、メーカーの投資動向が変化する可能性があります。

今後の取り組みとしては、成長性が見込まれる事業分野や市場に対して経営資源を重点的に配分し、より効率的に対応できる組織づくりを行います。

また、海外グループ会社との連携や研究所の拡充・活用により、非日系自動車メーカーのニーズへの対応力強化や、航空機・鉄道車両のような自動車以外を対象とした自動塗装や自動研磨の技術開発など、新規事業の拡大にも積極的に取り組んでいきます。

● 塗装システム事業部受注高  
累計期間:2020.4.1~2020.9.30



## Paint Finishing System Division

Toyota Motor Manufacturing de Guanajuato (TMMGT) 新工場が竣工

2020年2月、トヨタ自動車の車両生産子会社TMMGTのメキシコ新工場が竣工しました。ピックアップトラックの生産拠点となる本工場において、当社は塗装ブース・乾燥炉・排気処理装置を請け負いました。プロジェクトでは、予めタイなどの拠点で製作しておいた設備を輸入して据え付けることで、作業効率と安全性が向上しました。



## 移動式高性能エアバリアユニット「Air Infection Block Plus」で、ウイルス感染者から医療従事者への飛沫感染リスクを低減

新型コロナウイルス感染者が増加傾向にある中、病院では感染者、もしくは感染を疑われる患者に接することで、医療従事者がウイルスにさらされる機会が増えています。当社はこれまでの空調制御技術を活かした社会貢献という観点から、医療従事者と患者が対面となる診察時や、PCR検査などの検体採取時、必要な場所に配置するだけで、ウイルス感染リスクを低減できる移動式高性能エアバリアユニット「Air Infection Block Plus (通称AIB⊕)」を開発しました。

AIB⊕は、開口部における「エアカーテン」と吸気口を患者側に集中させる「一方向気流」で、患者の呼気・咳が対面の医療従事者の上半身に接触するのを防ぐとともに、「殺菌・酵素HEPAフィルター」の採用で2次感染

を抑制します。また、ユニットの形状はコンパクトなパーティション式のため、簡単に移動・設置できることも大きな特長です。



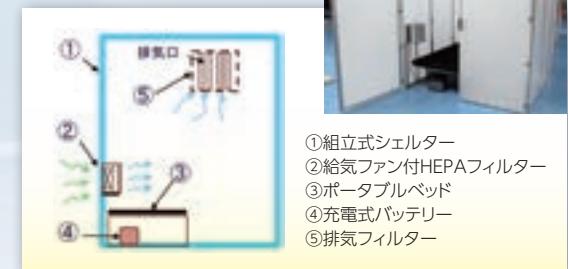
## 新型コロナウイルス感染リスク低減仕様・避難所用シェルター「バリアークューブ」を開発

人が多く密集しやすい避難所では、プライベート空間を確保しつつ、さらには新型コロナウイルスの感染リスクを低減することが重要な課題となっています。こうした課題に対応するため、当社は災害時の緊急避難所用シェルター「バリアークューブ」を開発しました。

これまでのシェルターは、カーテンやダンボールで間仕切りを設けるのが一般的でしたが、「バリアークューブ」は採光性やスプレーでの除菌に優れたプラスチックダンボールを採用し、完全個室タイプにしています。シェルター内部では高い空気清浄度を維持するため、給気ファン付HEPAフィルター\*を備え、室圧をプラス圧に保ちながら、フィルターを設けた給気口以外から外気が侵入するのを防ぎます。一方、排気口にも外部の清浄度を保つためのフィルターを設けたことで、

個々のシェルターにおける空気のろ過を通じて、シェルターを設置する建屋空間全体の空気をろ過する効果が得られます。

\*High Efficiency Particulate Airの略。高い空気清浄機能を持つ超高性能フィルターのこと。



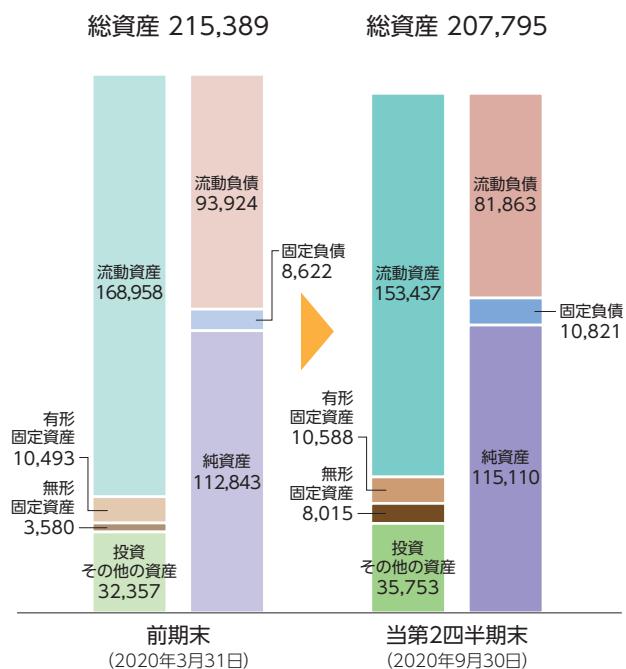
- ①組立式シェルター
- ②給気ファン付HEPAフィルター
- ③ポータブルベッド
- ④充電式バッテリー
- ⑤排気フィルター

当社は今後も「エネルギー・空気・水」に関するエンジニアリング企業として、お客さまの課題解決に取り組むとともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

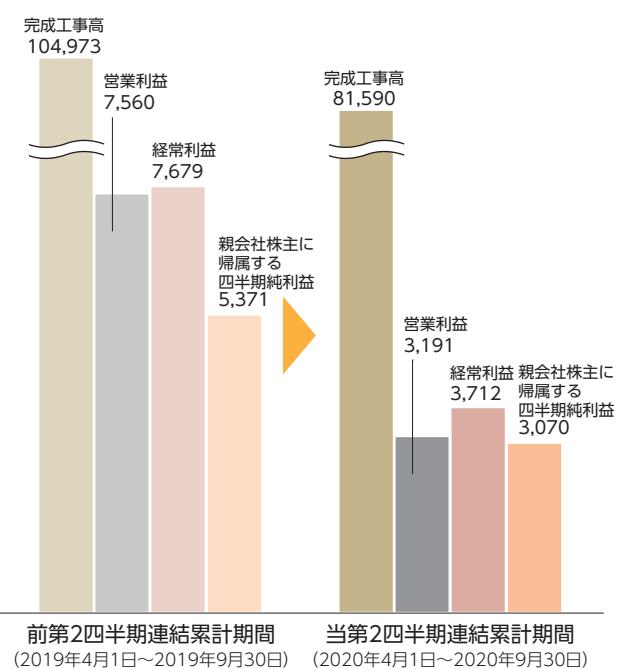


# 連結財務諸表

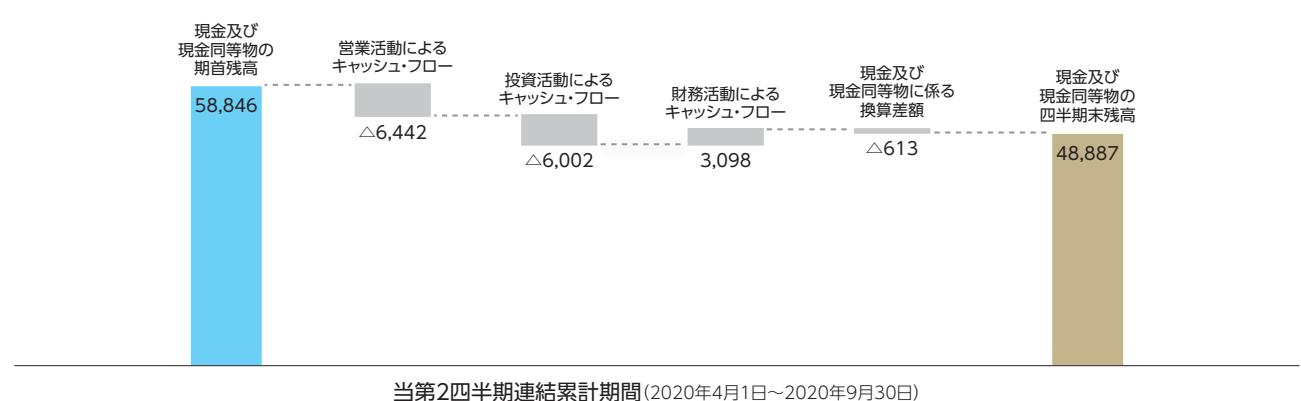
### 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



### 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



# 株主情報

### 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 株式会社 大気社 (Taikisha Ltd.)  
 創業 1913年4月10日  
 設立 1949年7月7日  
 資本金 6,455百万円  
 従業員数 (個別) 1,552名 (連結) 4,923名

グループ企業、取締役および監査役、株式情報については下記URLにてウェブサイトをご覧ください。  
 【グループ企業】  
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/group/index.html>  
 トップページ > 企業情報 > グループ企業

【取締役および監査役】  
<https://www.taikisha.co.jp/corporate/officer.html>  
 トップページ > 企業情報 > 役員紹介

【株式情報】  
<https://www.taikisha.co.jp/ir/stock/info.html>  
 トップページ > 株主・投資家情報 > 株式・株主情報 > 株式情報

### 株主メモ

証券コード 1979  
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月  
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告により行います (当社ウェブサイトに掲載)。  
 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

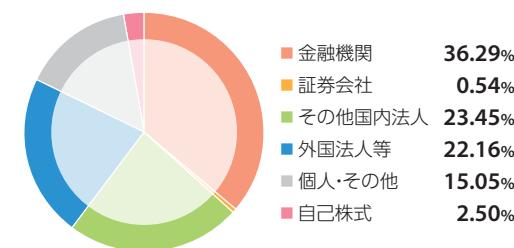
### 株式状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株  
 発行済株式の総数 35,082,009株  
 株主数 3,371名

### 大株主 (所有株式数上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,232	9.93
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	1,827	5.34
株式会社建材社	1,730	5.06
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,197	3.50
ザバンク オブ ニューヨーク メロン (インターナショナル) リミテッド 131800	1,054	3.08
大気社協力会社持株会	1,021	2.99
株式会社第二建材社	1,000	2.92
住友不動産株式会社	981	2.87
大気社社員持株会	968	2.83
日本生命保険相互会社	866	2.53

### 所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 1.当社は、自己株式877,275株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
 2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 3.[持株数]は千株未満を切り捨てて表示しております。